

立命館大学の学びと特長

教養教育

本学の教養教育は、総合大学の特長を生かして物事を総合的に捉える視野を身に付け、人生の指針となる知性と知恵、価値観、考え方を養い、主体的かつ自律的な思考や行動、ならびに他者の対話や協働ができる力を育成します。

教養教育の目標		到達目標
I 知識・理解	学部固有の専門教育とは異なる知的体系や方法論による学習によって、自らの専門性を相対化し考察する能力の習得を目指す。	知識 科学的考察力 総合的解釈力
II 思考・判断・意識	豊かな教養と深い洞察力の獲得によって、人生の指針となる知性と知恵、価値観、考え方の涵養を目指す。	洞察力 指針の確立 創造性
III 態度・行動	他者と実践を共にする中で多様な価値観を踏まえて主体的に学習する姿勢を身に付け、現代社会を切り拓く力の育成を目指す。	多様性・国際性 自己表現力 共創する力

[教養科目の構成]

立命館科目

本学の教學理念「平和と民主主義」と深く関連するテーマ(市民性、平和、人権、ダイバーシティなど)を学び、現代社会を生きる上で必要な批判的思考力、科学・技術と社会の関係を捉えます。多様な価値の尊重、他者との対話・協働、自由で責任ある思考・行動ができる地球市民になるための土台となる科目群です。



「平和人権フィールドスタディ」のネパールプログラムではフェアトレード団体と交流
*テーマは変更となる場合があります。

教養基盤科目(A群)

人類が長い時間をかけて創造してきた知的体系や先端的な知識に加え、現実に起きているさまざまな問題を提示することにより、問題意識を涵養し、問題解決型の発想力を育成します。7つの分野から構成しています。

国際教養科目(B群)

異文化間の相互理解力やコミュニケーション力を涵養する科目群。授業言語は英語や初修外国語です。討論や発表、留学生との学びあいを重視しています。



「Cross-cultural Encounters 1」では日英両言語を駆使して留学生と議論

1回生での小集団教育

大学での学びは、自ら進んで学ぶという、学習スタイルが求められます。

立命館大学では、各学部において、少人数でクラス編成された1回生対象の「基礎演習(専門小集団科目)」などを開講しています。レジュメの作り方、討論の方法、文献資料の探し方、グループ学習方法、レポート・小論文の執筆方法、プレゼンテーションの方法など、大学で学ぶための主体的な姿勢や基礎力を身に付けるほか、4年間の充実した学びに向けて、専門分野への導入を行います。

小集団教育の充実は、立命館大学ならではの学びの特長といえます。

教養科目的体系と履修の流れ



外国語・グローバル教育

立命館大学では、グローバル化した時代において、国際的な視野と語学力を身に付け、個性を生かして活躍できる人材を育成するため、全ての学部で教育内容の国際化を進めながら、課外自主活動での国際教育や交流を促進する、重層的な教育を目指しています。

外国語教育

各学部の外国語教育

立命館大学では、各学部の教育理念に基づき、必修外国語科目を配置しています。本学で必修として学修できる言語は11言語で、主に[英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語]などを展開しています。

必修外国語科目では、外国語の運用に必要な素養を身に付けます。さらに、発展的科目となる副専攻科目や、外国语で行われる専門科目などの履修につなげていきます。



※各学部で履修が可能な言語は異なります。詳細は、各学部のページの「外国語の選択」項目にて確認してください。

全学副専攻プログラム

各学部で必修となっている外国語教育や専門科目とあわせて、より実用的な言語運用能力を養う「全学副専攻プログラム」を開講しています。

全学副専攻プログラムは、必修外国語の履修などでこれまで培った外国語能力をベースに、より一層高い運用能力とその外国語学習を通じて幅広い教養を身に付けることを目的として、[ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語]の各コースを開設しています。(学部によって開講形態・履修構造が異なります。)

各学部での専門科目と併行して履修していくとともに、全学副専攻プログラムを履修することで、「読む、書く、聞く、話す」などの基礎運用能力を超えて、その国の文化や社会についての専門的知識を身に付けることができ、国際社会で活躍できる実践的で高度な運用能力を獲得することを可能としています。

言語教育センター(LEC)
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/>



社会で学ぶ自己形成科目(C群)

実社会への参加を通じて、地球市民としての倫理観・正義感・社会的責任感(シチズンシップ)を学びます。地域社会の課題解決を目指す市民団体との協働・対話による「サービスラーニング科目」と、職業観や勤労観を育む「キャリア教育科目」があります。

→ キャリア教育科目 P.140

スポーツ・健康科目(D群)

スポーツに親しみ、健康への意識を高めるため、スポーツの歴史や振興を通じた健康づくり、ヘルスケアなどの生活文化を扱う講義と多様な種目を揃えた実技から構成しています。

学際総合科目(E群)

学際的・総合的な知の構築を目指し、学生の主体的な授業参加を重視します。1回生から受講できる「教養ゼミナール」や、人類が直面する課題に対し学問分野の壁を越えた学融合的アプローチを行う「超領域リベラルアーツ」(3回生以上対象)などを配置しています。

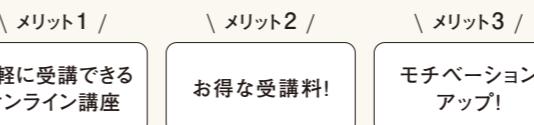


授業外のサポート

各種講座

言語習得センター CLA講座

CLA*の外国語講座では、語学力をアップさせたい、留学に備え外国語をしっかり学びたい、そんな学生の学びをサポートする講座を開講しています。同じ目的を持つ仲間と一緒に努力することでモチベーションも上がります。CLA講座を活用して、語学力で勝負できる人になろう!!



- TOEIC® L&Rテスト対策講座
- TOEFL® テスト対策講座
- IELTSテスト対策講座

*CLA:Center for Language Acquisition

言語習得センター(CLA)
<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/cla/>

立命館孔子学院

立命館大学が、中国の北京大学、同濟大学と共同で設置した中国語学習、中国文化理解促進のための教育機関です。

<中国語講座>

中国語講座:初級から上級まで8段階の講座を5拠点およびオンラインで開講。会話、ビジネス、資格試験など、テーマ別の特色ある講座も開講

弱点克服講座:「文法」、「発音」、「リスニング」を夏期、春期休暇中に集中開講

<海外留学支援>

長期留学支援:国際中文教師奨学金留学(半年、一年間計6名程度)*
短期留学支援:留学体験プログラム(夏期、春期に10日間、各20名程度)

<中国文化理解企画>

中国理解講座や中国古典文化講座、各種セミナー・講演会、読書会、中国芸能公演など

*派遣先実績は北京大学、同濟大学、南開大学 ほか

立命館孔子学院
<https://www.ritsumei.ac.jp/confucius/>



各種試験受験の補助制度

英語団体受験

TOEFL ITP® テスト TOEIC® L&R IPテスト

正課授業の到達度を測るため、また主体的な外国語学習の自己検証を目的として、年に数回団体受験を実施し、留学や大学院進学、就職活動など将来へのキャリアアップに備えて、活用を推奨しています。

*学部により受験料補助制度があります。また受験が義務付けられている場合があります。

*TOEIC® 及びTOEFL®はEducational Testing Service (ETS) の登録商標です。

*TOEIC® L&RテストのL&RはLISTENING AND READINGの短縮形です。

初修外国語検定試験補助制度

学生の初修外国語検定試験の受験料の1/2を大学が補助しています。語種などの詳細については、言語教育センターのホームページで確認してください。

言語教育センター(LEC)

<https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/gaikokugo-gakusyu/>



多様なニーズに応える海外留学プログラム

立命館大学では、学生の皆さんの「海外で学びたい!」という多彩なニーズを実現するために、短期から長期間の海外留学プログラムを準備しています。いずれも、単位が授与されるプログラムです。

短期留学(夏休みや春休みに行く1週間~1ヶ月の留学)

海外に飛び出そう!

全学募集の海外留学プログラム一覧
<https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/program/univ2/>



テーマを持って学習しよう!

Global Fieldwork Project(GFP)

学部を超えてチームを編成し、テーマ(文化・歴史・観光など)に沿って、現地でフィールドワークを行います。教員による引率、現地学生によるバディ制度、留学前と留学後の研修会など、充実したサポートを受けながら学習に集中することができます。海外渡航が初めての方でも参加しやすい、体験型海外留学入門プログラムです。なお、GFPの発展型のプログラムとして、すべて英語で実施される約10日間のAdvanced Global Fieldwork Project(AGFP)もあります。

留学期間
約1週間
留学先
ベトナム、マレーシア、カンボジア、タイ、インドネシア、台湾

海外スタディ

専門的な知識の習得を目的として外国語(主に英語)でテーマ学習を行います。プログラムでは、専門的なクラスを受講する「アカデミック・ラーニング」、あるいは調査活動(複数の教育機関、国際機関などを訪問し現地で働く教職員などからレクチャーを受けるなど)を通じて実践的な学びを深める「フィールドワーク」を展開します。語学留学とは違った、専門分野での実践型学習を中心としたプログラム内容となっています。



留学期間
2~4週間
留学先
アメリカ、マレーシア

異文化理解セミナー／現地で学ぶ初修語セミナー

語学力向上と異文化理解を目指すプログラム。派遣先大学で外国語を学習します。また、現地での施設見学やフィールドトリップも充実しています。留学先は多様な言語圏から選択でき、英語、中国語、朝鮮語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の各コースを用意しています。



留学期間
2~4週間

ベース大学 (ニューヨーク、アメリカ合衆国)	ニューヨークで学ぶ国際連合
マレーシア工科大学 (ジョホールバル、マレーシア)	マレーシアで学ぶアジアの環境と開発
ラトガーズ大学 (ニュージャージー州、アメリカ合衆国)	多様な視点から見る アジア太平洋の国際関係

オンライン留学にチャレンジ!

立命館×UC Davis Online Learning～オンライン留学で学ぶグローバル課題～

アメリカ・カリフォルニア大学デービス校(UCデービス)と共同開発したオンライン留学プログラムです。グローバルな課題について「自文化」との比較を行い、授業によってはUCデービスの学生と共に修する機会もあります。オンラインでの実施のため、費用を抑えることができ、また日本とアメリカの時差にも対応しているため日常生活とも両立して参加できます。

1セメスター留学

集中的に英語を学び専門的な講義を受けたい!

英語を集中的に学ぶプログラムや、外国語による現地の専門的な講義を受けるプログラムなど、多様なプログラムを開催しています。一部のプログラムでは、派遣先大学の正規科目を受講できるものもあります。

立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム アメリカ

立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム アメリカ

立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム イギリス



留学期間
4~6ヶ月
留学先
アメリカ、イギリス

Voice 立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム



橋本 果保 さん
文学部(派遣時3回生)
大阪教育大学附属高等学校
平野校舎出身

大学2回生の頃、異文化理解セミナーに参加し、自分自身の英語力の未熟さを痛感しました。スピーキング力を磨き、言語の壁を越えて自由にコミュニケーションを取りたい!と強く思ったのがきっかけで、1セメスターのプログラムに挑戦しました。本プログラムでは、SDGsやビジネスについて専門的に学ぶ中で、授業の理解が難しく感じる時期もありました。しかし、教授との距離の近さや、多くの仲間とのフィールドワークを通じて、大きな刺激を受け、学びを深めることができました。1年後、異文化理解セミナーでお世話になったホストファミリーの元を訪れた際、英語力の向上に驚かれ、非常に嬉しかったのを覚えています。今振り返っても、エマラルド・シティ(シアトル)は、英語力の向上だけでなく、視野を広げるという意味でも、私を大きく成長させてくれた場所です。この経験を第一歩とし、将来、海外と日本をつなぐ架け橋となるよう、努力していきたいです。

長期留学

自分の興味がある分野を海外でしっかり学びたい!

立命館・UBC GATE-EDIプログラム

カナダの名門校であるブリティッシュコロンビア大学(The University of British Columbia: UBC)教育学部と共同設計した、1991年から続く立命館大学の歴史ある独自の留学プログラムです。プログラム参加学生をサポートするUBCの専属スタッフもいるため、現地でのサポートが充実しています。



留学期間
8ヶ月間
留学先
カナダ

ASEANで学ぶ国際PBLプログラム

ASEANや日本に関する問題意識を持ち、留学生とともにProblem/Project-Based Learning(PBL)で議論を重ねるプログラム。タイもしくはインドネシアのトップクラスの大学への半年間の留学と、派遣前および帰国後の学修を行う、一貫した学びが特長です。



留学期間
約半年間
留学先
タイ、インドネシア

立命館・アルバータ大学 「北米の言語・文化・社会」プログラム

アルバータ大学のIVSP (International Visiting Student Program)に参加します。留学前半(9月~12月)は英語の授業を受講し、アカデミックな英語力の向上を目指します。留学後半(1月~4月)はアルバータ大学の講義を現地学生と受講します。



留学期間
8ヶ月間
留学先
カナダ

APU国内交流プログラム

立命館大学と立命館アジア太平洋大学(APU)、両大学間の学生交流を目的とした半年間あるいは1年間の国内交流プログラムを設けています。世界各地の留学生が学ぶAPUでの国際色豊かな学修、国籍や地域を越えて留学生と交流できるAPハウス(APUの学生寮)での共同生活など、国内で異文化理解・異文化交流を体験できる貴重な機会です。英語で行われる授業の履修を通じた英語力やプレゼンテーション能力、国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上などが期待されるほか、これらを踏まえた海外留学の準備としても活用できます。

留学期間
半年間(春学期、秋学期)
1年間(春学期出発のみ)
留学先
立命館アジア太平洋大学 (大分県別府市)

Voice 交換留学(イギリス ロンドン大学SOAS)



岩村 篤 さん
国際関係学部(派遣時4回生)
福岡県立北筑高等学校出身

私が交換留学を決めたのは、大学4回生の頃は就職活動を始める時期でした。1・2回生の頃はコロナ禍で留学が厳しい状況でしたが、開発学や平和構築をもっと深く学びたいという思いから、4回生であっても交換留学を決意しました。留学中の生活は楽しいだけでなく、挑戦の連続でした。1回の授業で必ず1回は発言することを自分に課し、大量の論文を読み続け、英語で思考する習慣を身に付けました。その結果、イギリスの国会議事堂で政治家と外交について議論したり、国連職員とSDGsに関する会議に参加したりする場面でも、堂々と英語で発言できる自信を得ました。さらに、他国を知ることで自分自身を客観的に見つめ直すことができ、日本人としての特性を生かし、オンラインで日本語学習のコミュニティを立ち上げ、今では1万人を超えるメンバーを集めることができます。この経験を生かし、困難に立ち向かい続ける不屈の精神で、国連職員になるという夢を全力で追いかけます。今回の留学は、かけがえのない成長の機会となりました。